

英語に親しみ、思いを生き生きと伝え合おうとする児童の育成

～児童の実態に即した指導内容と目標を明確にした学習活動を通して～

1 設定理由

グローバル化が加速する中で、世界の多くの国々で小学校での英語教育が実施されており、昨今は開始学年の低学年化が進んでいる。日本でも、平成32年度の次期学習指導要領改訂に伴い、小学校3・4年生の外国語活動の導入と小学校5・6年生の教科としての英語が次年度から先行実施されることが決定した。

本校では研究主題「思いを伝え合う子どもの育成」の解明に向けて、1年生から15分間の朝学習で英語活動に取り組んでいる。3年目を迎えたとりくみを通して、学齢に即した指導内容・方法の検討を進めているところである。

児童の実態に即し、学齢に応じながら満足感や達成感を持たせる指導は、児童の学びに対する主体性を育むことができると考える。更に校内研修体制を整え、担任主導の学習活動の実践を進めていくことで、一人ひとりの学ぶ姿をきめ細かく見取ることができ、児童の学びの深まりにつなげていけると考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

児童の実態に即した指導内容と目標を明確にした学習活動を工夫していくことで、児童が互いに自分の思いを生き生きと伝え合うことができるだろう。

3 研究内容

- (1) 児童の実態に即した朝学習の指導計画作成と担任どうしの打ち合わせの有効性の検証
- (2) 「たのしむ・かかわる・つながる」ことを目標とした活動の実践
- (3) 授業実践（6学年）（4学年）
- (4) 実態調査

4 結論

- 朝学習において目標を明確にした活動を実践していくことで、児童が学習活動に意欲的に取り組むことができた。
- 児童の学齢・実態に即した学習内容をスパイラル指導計画に組み込んでいくことで、1年生から6年生までの児童が楽しみながら、伝え合う活動に主体的に取り組むことができた。
- 毎時間の学習の中で児童が自己評価や相互評価を行い、学級担任がそれらを丁寧に見取って指導していくことで、児童の互いを認め合おうとする心を育むことができた。

千葉県教職員組合小中台南小分会
千葉市立小中台南小学校

窪田 美幸

千葉市立生浜小学校

小川 大輔

1 主題設定の理由

現代社会では、高度情報化や経済のグローバル化が進み、社会的にも経済的にも世界が一体となって大きく動いている。中央教育審議会の『次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ（以下、『審議のまとめ』）』には、「我が国は、持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議のホスト国としても、先進的な役割を果たすことが求められる。」と述べられている。「持続可能な開発のための教育」とは、環境問題などの地球規模の課題を自らの課題として考え、解決に向けて行動していく力を育む教育を指している。広い視野を持ち、様々な人との関わり・つながりを尊重できる人間性を子どもたちに育んでいくことが求められている。『審議のまとめ』では、更に新しい時代に必要な資質・能力として次の3つの柱を掲げている。①生きて働く「知識・技能」の習得②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養である。

この中で特長的な③「学びに向かう力・人間性」は変化の激しい現代社会において強く求められるものであり、「人間性」には他者への思いやりや優しさも含まれているであろう。

平成27年に文部科学省から出された「小学校における外国語教育の充実に向けた取り組み」の中に、次のように記された一節が抜粋されている。「これからの世界を生きる上で、日本人としての文化や歴史、伝統を背景としたアイデンティティや国語力と並んで、英語を中心とした外国語による発信力や情報活用能力は不可欠である。グローバル化した社会では、異なる価値観や文化的・宗教的背景を持つ人たちと互いに理解し合い、共存していくことも必要である。」

（「これからの時代に求められる資質・能力とそれを培う教育、教師の在り方について」教育再生会議第七次提言）他者理解に向けた心の自然な現れとして、コミュニケーションは存在し、そこで人と人とは関わり、つながっていく。新しい時代に必要な資質・能力において、コミュニケーション能力の育成はこれまで以上に重要である。

今後、ますます外国人が流入する日本社会において、グローバル化の問題は大きな教育の課題となるであろう。学校教育現場での「グローバル化」が意味することは、イコール外国語（英語）ということではない。重要なことは人間性であり、生きる力を育むことであり、いかに外国人や異文化に対応できるようにするかである。このようなことから、「生きる力」を育むために、指導内容の体系化・改善を図りながら、子どもたちが言葉やジェスチャーといったツールを使いながら、伝え合い、関わり合う活動を通して思いやりや優しさの心を核とする豊かな人間性を育んでいきたいと考えた。

本校では研究主題「思いを伝え合う子どもの育成」の解明に向けて、1年生から朝学習で英語活動に取り組んでいる。児童は異言語や異文化に対して柔軟な心を備えており、低学年ほど戸惑いが少なく、英語活動に親しむ様子が見受けられる。歌やジェスチャーを使っのゲームでは、体全体を使って元気いっぱい表現する姿が見られる。中学年になると、ジェスチャー等を使いながら、簡単な会話を交わすことを楽しめるようになってくる。様々な表現方法を使って「伝え合おう」とする意欲の高まりが感じられる。更に、高学年になると、設けられたテーマについて、英語を使って紹介するといったプレゼンテーション活動に取り組めるようになってくる。また、中学校に向けて定期試験や受験についても意識する姿が見られるようになる。

児童の実態に即し、学齢に応じながら満足感や達成感を持たせる指導は、児童の学びに対する主体性を育むことができるであろう。更に校内研修体制を整え、担任主導の学習活動の実践

を進めていくことで、一人ひとりの学ぶ姿をきめ細かく見取ることができ、児童の学びの深まりにつながって行くであろうと考え、本主題を設定した。

2 研究仮説

児童の実態に即した指導内容と目標を明確にした学習活動を工夫していくことで、児童が互いに自分の思いを生き生きと伝え合うことができるだろう。

3 研究内容

- (1) 児童の実態に即した朝学習の指導計画作成と担任どうしの打ち合わせの有効性の検証
- (2) 「たのしむ・かかわる・つながる」ことを目標とした活動の実践
- (3) 授業実践（6 学年）（4 学年）
- (4) 実態調査

3 (1) 児童の実態に即した朝学習の指導計画作成と担任どうしの打ち合わせの有効性の検証

小中台南小学校ハロータイム 年間指導計画（1 年生）抜粋

月	単元名	単元目標	活動例	表現例	語彙例
4	Hello.Friends! あいさつしよう!	・挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。	・自分の名前を伝え、挨拶をする。	Hello.I'm ooo. Goodbye.See you.	hello, I, am, goodbye, see, you
5	How are you? ごきげんいかが?	・感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。	・友達と挨拶をして、ジェスチャーを交えて自分の様子や状態を伝える。	How are you? I'm(happy).	how, are, 気持ちを表す語 (fine,happy,great,sad,tired)
6	Head,shoulders, knees and toes. 元気におどろう!	・体の部分の言い方に慣れ親しむ。	・歌に合わせて体の部分の言い方を知る。 ・友達と楽しく関わりながら体の言い方に慣れる。	What's this? It is a mouth.	what,is,this,mouth, nose,ears eyes,legs,hands・・・

低学年の学習活動においては、目標は「慣れ親しむ」ことを主として指導計画を立てた。また、目指す児童の姿として、英語活動を「たのしむ」ことを掲げ、活動内容の提案を行った。語彙の数に関しては児童の実態に応じて増やしていくようにし、表現に関してはできるだけ少ない語数のものを提示した。担任どうしの打ち合わせの際には、ジェスチャーを積極的に取り入れることや、児童に言葉だけでなく身振り手振りでも表現することを積極的に促すことの共通理解を図った。例えば、数を言う場面では、発音するだけでなく指でその数を示すことや、体の部分の言い方を練習する場面では、友だちどうしで互いに指し示すこと等の指導を確認し合った。それぞれの活動の中で大切なポイントとなることを学級担任どうしで共通理解することが児童の確かな学びにもつながっていくのではないかと考える。また、学級担任に活動のモデルを示すことも必要であると考え、年度当初の数回を担当と行った。特に 1 年生の活動に際しては、児童がまだ学校生活に十分に慣れておらず、学習に取り組む態度を学ぶ時期でもあったため、活動が円滑に進むためには、教科主任等が学級担任のサポートに入ることも効果的であると感じた。

小中台南小学校ハロータイム 年間指導計画（3年生）抜粋

月	単元名	単元目標	活動例	表現例	語彙例
4	Hello.Friends! あいさつをして 友達になろう	- 世界には様々な言語があることを知る。 - 挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 - 名前を言って、挨拶しようとする。	世界の様々な言語で挨拶をする。 自分の名前を伝え、挨拶をする。	Hello.I'm ○○○. Goodbye.See you.	hello, I, am, goodbye, see, you
5	How are you? ごきげんいか が?	- 表情やジェスチャーの大切さや表す意味の違いに気付く。 - 感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。 - 表情やジェスチャーを付けて挨拶をしようとする。	友達と挨拶をして、ジェスチャーを交えて自分の様子や状態を伝える。	How are you? I'm(happy).	how, are, 気持ち を表す語 (fine,happy,great, sad,tired,sleepy, hungry)

中学年では、来年度からの外国語活動の先行実施を踏まえて、文部科学省から提示された年間指導計画を基に作成した。目標は「慣れ親しみ」に加え、「異文化への興味関心を深める」「コミュニケーション活動に対する積極的な態度」を育むこととした。目指す児童の姿として「かかわる」ことを掲げ、会話を交わすことを多く取り入れた活動内容の提案を行った。担任どうしの打ち合わせでは、特に「スキット」を用いた練習を提案し、活動の中における会話の流れをつかむための手立てとして紹介した。また、インフォメーションギャップを用いた活動を取り入れることも行い、ワークシートを活用する機会も増えたため、打ち合わせを行うことで、各学級担任が戸惑い無く、活動の見通しを持つことができた。

小中台南小学校ハロータイム 年間指導計画（6年生）抜粋

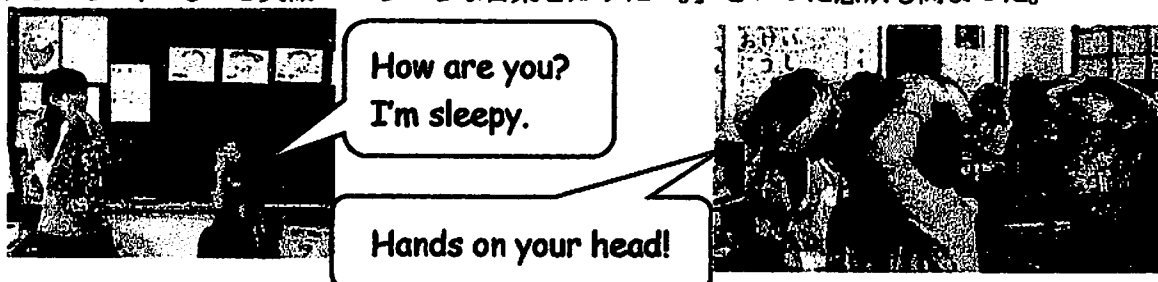
月	単元名	単元目標	活動例	表現例	語彙例
4	This is me! 自己紹介	- 好きなことやできることについて話すことができる。 - 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた自己紹介文の意味が分かり、相手に伝えるなどの目的を持って書き写すことができる。	- これまでに学習した簡単な語句や基本的な表現などを使って自己紹介する。 - 例を参考に語と語の区切りに注意して、自己紹介の基本的な表現を書き写したり、意味を理解したりする。	I'm from~. I like~I want to go to~. My birthday is ~. What do you like?	from, nickname
5	Welcome to Japan! 日本へようこそ	- 日本文化の良さについて、自分の考えを含めて伝え合うことができる。 - 日本文化について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、相手に伝える目的を持って書き写すことができる。	- 日本文化とその良さについて伝え合う。 - 例を参考に語と語の区切りに注意して、日本文化に関する簡単な語句や基本的な表現を書き写す。	Welcome to Japan. Kabuki is Japanese famous culture. What is your favorite~?	welcome,Japan ,culture, festival,fire work, enjoy

高学年の指導計画においては教科化を踏まえ、読む・書く活動も取り入れるようにした。書く活動としてのとりくみに対して、ワークシートの検討を教科主任と行い、作成をお願いした。短時間でできる「なぞり・写し書き」のワークシートを活用した。また、目標においても CAN-DO を意識して「できる」とした各内容を提示した。目指す児童の姿として主に中学校への学習に「つながる」活動を展開していけるような活動内容の提案を行った。簡単な情報や考え等を表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す中学校での学習に向け、自らの考えを発表するといった簡単なプレゼンテーション活動を多く取り入れられるようにした。

3 (2) 「たのしむ」・「かかわる」・「つながる」ことを目標とした学習活動

低学年「たのしむ」 ～言葉の面白さや体を使って表現することを楽しむ～

低学年では、簡単な言葉と共に動作を伴う活動を多く取り入れた。それにより児童が活発に学習に取り組む姿が見られた。2～3語程度のクラスルームイングリッシュを用いてのジェスチャーゲームや、顔の言い方を用いての福笑いゲーム、数の言い方を用いてのクイズなど、身近な言葉や表現を扱ったゲームを通して、英語活動の楽しさを味わえるようにした。また、ハロウィンやクリスマスなどの行事を題材に、それらに関する語彙（お化け、お菓子、かざりなど）を取り上げることで、「もっと英語のいろいろな言葉を知りたい。」といった意欲も高まった。



中学年「かかわる」 ～友だち・指導者との関わりを通して伝え合う楽しさを味わう～

中学年では、簡単な表現を扱いながら、伝え合う活動を多く取り入れるようにした。デジタル教材 Hi, friends! も活用しながら、語彙や表現に慣れ親しむことができるように練習を繰り返す行うことで定着を図り、伝え合う活動につなげられるような指導計画を立てた。伝え合う活動では、相手にしっかりと思いが伝わるようにジェスチャーを積極的に使うことを奨励した。また、会話の中では挨拶・アイコンタクト・相づちを意識して行うことを指導しながら、友だちとの関わり合いを楽しみ、「英語で伝えられた。」という達成感や満足感を持たせて、高学年への学びにつなげられるようにした。



I can play baseball.

I can play soccer.

高学年「つながる」 ～他教科とのつながり・中学校の学びへのつながり・人とのつながり～

高学年では、総合的な学習の時間や社会科の学習で学んだ外国の文化について児童が興味・関心をさらに深められるように、自分が行って見たい国について調べたことについてプレゼンテーションを行う活動や、自分の将来の夢について発表する活動等、資料やイラスト等を使いながら自ら表現方法に工夫を加えて、生き生きと伝えようとする姿を目指した。友だちの発表を聞きながらさらに異国への関心を深められた児童もいた。国語を含んだ他教科との関連により、6年生までの学びを再確認できたのではないかと考える。次期学習指導要領では、プレゼンテーション能力を育むことも提示されている。中学校への学びにつながっていくように、このような活動に積極的に取り組んでいくことが児童の学びを深めるとともに、中学校の学習への意欲を持たせられるのではないかと考える。



I want to go to France. I want to eat escargot.

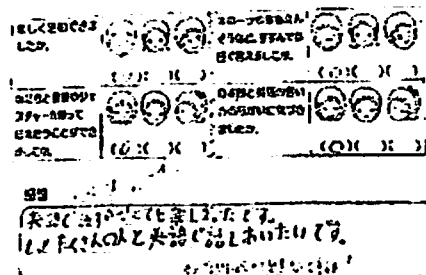
3 (3) 授業実践

4年生の検証授業

研究内容と成果

(1) 学習のめあての提示と自己評価の活用

Hi, friends! 2「Lesson 6 Can you ~?」の単元を15分間の朝学習3回と45分間の授業で行った。4年生児童であるが、朝学習は2年目となっているので英語活動にも意欲的である。しかし、活動の雰囲気を楽しむだけの児童も多く見られるので、一人ひとりがコミュニケーション活動へ意欲的に取り組む姿を目指して指導を進めていった。まず、単元の始めにこの学習の目的とめあてを提示した。目的は「英語で友だちのできることをたくさん聞き、それをメッセージカードにする」こと、めあては「自分のできることを英語やジェスチャーを使って伝え合おう」とした。



【朝学習での振り返り】

また、3回の朝学習では、【①スポーツや楽器の言い方を英語で言おう。②友だちと英語やジェスチャーを使って伝え合おう。③日本語と英語の言い方の違いに気付こう。④楽しく活動しよう。】という具体的な目標を示した。児童

が自己評価をしながら学習を進めていくことで、教員が行動観察だけでは見取れない点にも気付く、短時間でもポイントを絞った丁寧な授業を展開することができた。4年生にはやや難しい表現も使われていたが、毎回提示するめあてを意識して

「ジェスチャーでもいいんだよ。」と児童が自然に声をかけ、楽しみながら伝え合う姿がたくさん見られた。最初は低い自己評価を付けた児童が2回目、3回目と評価を上げられるように指導や支援を行えたことが、短時間学習を積み重ね、45分間のまとまりのある授業と関連づけて行った成果であった。また、会話を中心としたペアやグループでのコミュニケーション活動を多く取り入れたことで、意欲的に練習する姿が見られた。



【4年生での英語活動・ジェスチャーをたくさん取り入れた伝え合い】

(2) 中学年児童の実態を考えた指導の工夫

中学年は、「聞く」「話す」活動を行う際は、単語だけではなく、文レベルでやり取りをさせたい。使用する言語材料を増やし、児童どうしで会話できるように繰り返し活動させていくことが大切である。扱う文の語数を考えた際、“What time do you get up?” (6語)等は5年生でも難しくなると言われている。しかし、“What time is it?” (4語)は中学年の児童にとっても易しく、定着しやすい。そういったことを踏まえて、“Can you play ~?”を扱った学習内容を設定した。さらに、チャンツやインタビューゲーム等を行い、表現方法に慣れ親しむ活動を多く取り入れた。短時間学習の中でも繰り返し練習したことで定着し、覚えた表現を積極的に使うことができるようになった。また、スポーツや楽器の名称は日常的によく聞いているので親しみもあり、自信を持って積極的に使う姿が多く見られた。加えて、これらはジェスチャーでも簡単に表現することができる。親しみのある言語材料や言いやすい表現を取り入れたことで、中学年の児童でも楽しみながらコミュニケーション活動に取り組むことができた。

また、コミュニケーション活動とは、実際に児童に言葉の大切さに気付かせ、人との関わり方を学ばせるための活動でもある。中学年児童のコミュニケーション活動には、ゲームやクイ

ズ形式の活動や、ペアやグループ、全体での活動等、多様な形態を組み込ませたいと考え実践を行ったが、その際は「挨拶」「笑顔」「アイコンタクト」「相づち」を合い言葉に取り組ませた。振り返りカードには、「たくさんの友だちと笑顔で話せて嬉しかった。」等の感想を書く児童もあり、活動を通して、それらの大切さに気付かせることもできたのではないかと考える。高学年での学習活動に向けて、そして社会の一員として、基本となることを指導していきたいと考える。

この実践は中学年の実態を考え、取り組んできた。児童が無理なく、英語に親しめる活動にしていくために、4学年児童に適したためあて・評価、指導内容を取り入れた。コミュニケーション活動を活発にするためには、各発達段階を捉えながら、指導計画を立て、指導内容や指導方法を考えていくことが大切である。児童が英語に楽しく触れ、生き生きと表現できる授業づくりにおいて、児童の実態を把握している学級担任の果たす役割は大きいと考えられる。今後は小学校と中学校の連携を見据えながら、低・中・高学年の発達段階に応じた指導内容や指導方法について研究を深めていきたい。

6年生の検証授業

研究内容と成果

(1) 高学年の知的好奇心を促す活動内容の工夫

Hi, friends! 2, Lesson 5 “I want to go to Italy.”より単元の構成を行った。本単元では、世界には様々な人たちが多様な生活をしていることに気付いたり、英語はコミュニケーションの道具の



【行きたい国について調べたことを簡単な英語を使って伝える。】

一つであることを知り、伝えたいことを進んで英語で話してみようという意欲を持ったりすることを主なねらいとしている。

まず始めに、自分が行ってみたい国について調べる活動を行った。その国の食文化や遺跡等を調べていく中で、他国の文化を知ることの楽しさや自国の文化との違いに気付く、児童が学習活動に夢中に取り組んでいる様子が見られた。さらに、プレゼンテー

ションへの意欲の高まりも感じられた。

本単元のゴールは自分の行きたい国について発表し合うことである。まず“Where do you want to go?” “I want to go to~.”等の表現を使って聞くこと及び話すことに慣れさせ、積極的に伝え合おうとする児童の姿を目指した。また、それらの活動を通じて、自分ならどこに行きたいか、友だちはどんな国に興味があるのだろうかという関心も高めていきたいと考えた。そして、コミュニケーション活動を通して、友だちはどんな理由でその国に行ってみたいのか興味をもって尋ねたり聞いたりする姿を目指した。しかし、自分の考えを十分に伝えることのできる英語の表現方法を児童はまだ持ち合わせていないので、ジェスチャーや写真、イラスト等を使ってのパフォーマンスを用い、伝える楽しさを実感させた。そうすることで、言葉だけに頼らずに、伝えたいことを生き生きと表現することができた。児童は今まで知らなかった友だちの新たな一面を発見するとともに、コミュニケーションを活動の楽しさを味わうことができた。

(2) プレゼンテーションへの意欲を高められる指導・支援

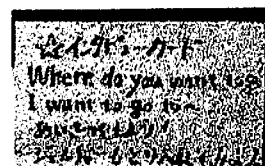
学級の実態として外国語活動に楽しく取り組んでいる児童が多く、特にゲーム活動には意欲的に取り組み、とても楽しみにしている。しかし、会話をする活動には消極的で、話しかけられずに時間を過ごしてしまう児童も見られた。相手を見つけられるように常に担任が支援に入る児童

も数名いた。実態調査から見ても、会話を楽しいと感じる児童は半数以下であった。しかし、英語を使って話せるようになりたいと思っている児童は全体の82%であり、「英語で伝えたい」という思いを持っている児童が多いことが分かった。

そこで、担任が行う授業では、児童が自信を持ってないところを見つけ、意欲的に取り組めるようにしていくための手立てを考えながら指導していくことで、外国人講師が行う授業の中でも伝え合うことに自信を持って取り組めるように学習内容を構成した。児童が不安を覚えるのは、単語の言い方や発音がその割合を多く占めることがわかってきたので、朝学習の15分間の中で、発音の練習や新しく使う表現方法に慣れ親しむ活動を取り入れた。また、本単元では、互いに尋ね合う活動を多く取り入れた。学習のまとめでは、友だちから紹介された情報も生かして、自分の行きたい国についてプレゼンテーションを行った。伝え合う楽しさを実感させながら、達成感を味わわせることができた。

さらに、言葉だけがコミュニケーションの方法ではなく、ジェスチャーを使うことも立派なコミュニケーション方法の一つであると伝え、相手にわかりやすく伝える工夫について助言した。伝えるだけでなく、相手の発表や意見をしっかりと聞く姿勢も身に付けられるような指導も行った。これらの実践により、相手を認める心を育むことにもつながったと感じられた。

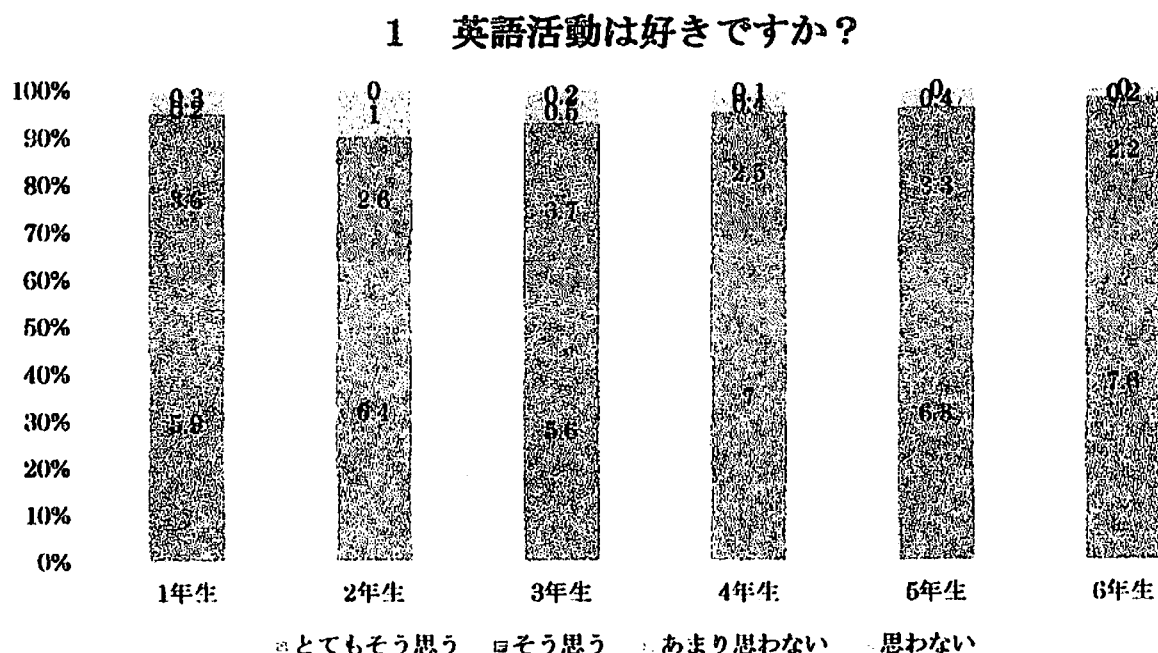
新学習指導要領において「話す」観点においては対話と発表（プレゼンテーション）とに分けられている。グローバル化する社会において、プレゼンテーション力は今後益々求められるものであるだろう。このプレゼンテーション能力を育むためにも、児童が意欲的に取り組めるような場づくりや発表の形態等についても今後更に検討していきたい。



【発表に向けて、言葉や表現に十分に慣れ親しませる】

3 (4) 各学年における実態調査

図 1



好きな理由として挙げられた主なもの

低学年・色々な楽しい活動がある。歌が楽しい。色々な英語の言い方がわかる。

ハロウィンなどの行事を楽しめる。たくさんの友だちとゲームができる。

日本語との違いが面白い。英語を習っている。旅行先で英語を使えた。

中学年・いろいろなテーマを楽しく学べる。楽しい気分になれる。英語で歌が歌える。

たくさんの友だちと会話できる。ゲーム等で楽しく覚えられる。外国で使いたい。

たくさんの言葉を覚えられる。外国にいる気持ちになれる。ローマ字を書くことが楽しい。

高学年・楽しみながら授業が進む。いろいろな活動ができる。学習ごとに知らなかった言葉を学べる。友だちと英語で楽しく会話できる。担任の先生の授業が理解しやすい。

外国人講師の先生が明るくて楽しい。自然と頭に入ってくる。

好きではない理由として挙げられたもの

低学年・発音が難しい。言葉の意味がわからないときがある。

中学年・発音が難しく話しづらい。言葉の意味がわからない。

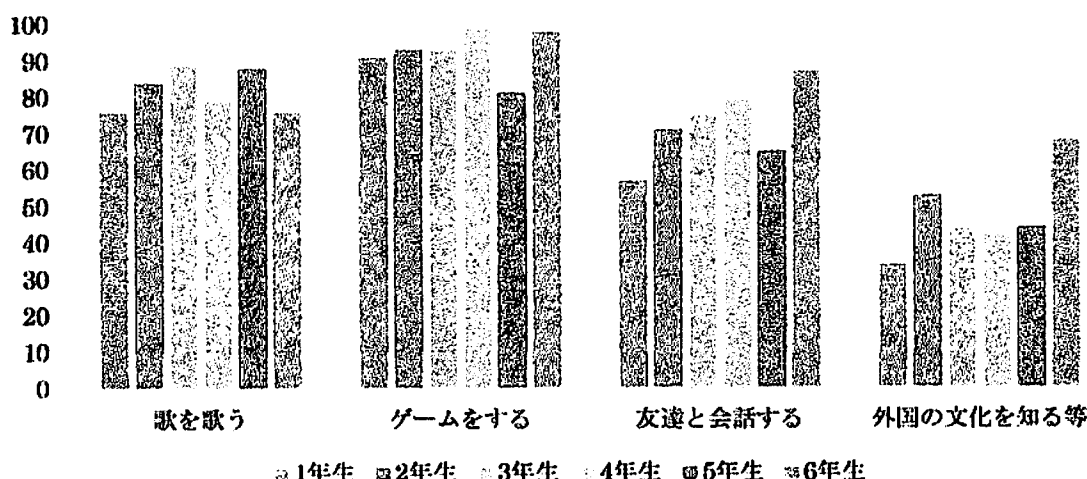
高学年・発音が難しい。英語ができない。

考察

図1を見ると、どの学年も9割以上の児童が英語活動を好き(「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて)と回答しており、英語活動にとっても意欲的に取り組んでいることがわかる。その理由としてどの学年からも、友だちと関わり合う活動が楽しいという意見が多く挙がっている。このことは学習活動の中で「伝え合う活動」「関わり合う活動」を意識して取り入れてきたことが、児童の英語活動への意欲を高めた一つの要因となっていることが推測できる。また、肯定的回答への回答率は各学年で大きな差は見られなかった点を見ると、現在取り組んでいる各学年での活動が児童の発達段階に沿ったものに近く、児童が「面白くない」「難しくてできない」と感じていることがあまりないのではと考えられる。一方で、どの学年でも1割弱の児童が否定的回答をしており、発音の難しさを理由として挙げる児童が多かった。発音に意識をとられ過ぎず、ジェスチャーを積極的に取り入れ、伝え合う楽しさを味わってほしい。この内容を詳細に分析し、抵抗なく活動に取り組めるような手立てをさらに検討していきたい。

図2

2 英語活動ではどんな活動が好きですか？

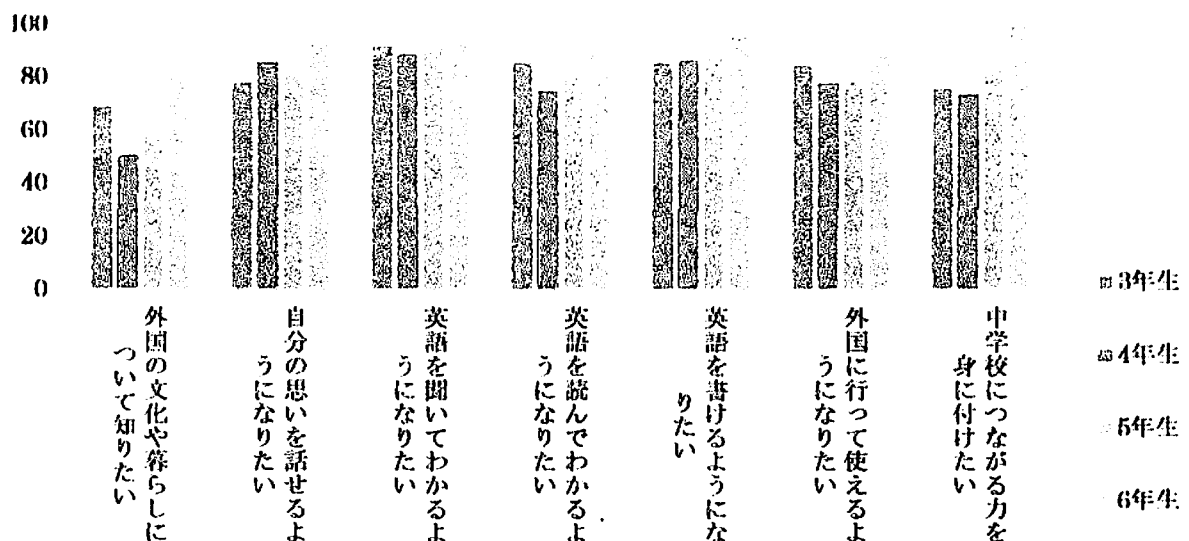


考察

図2では、肯定的回答への回答率は各学年で大きな差は見られなく、どの活動に対しても意欲的に取り組んでいることがわかる。特に「ゲーム」は最も高い割合を示しており、英語活動を進める上で欠かせない活動といえる。興味深い点は「友だちと会話する」活動が概ね学年が上がるにつれて高い割合を示している点である。全体では朝学習等の積み重ね、高学年では週1回の外国語活動の積み重ねが児童の自信につながり、会話を楽しもうとする意欲につながっているのではと考えられる。特に6年生では、「外国の文化を知る」項目に関して、題材で取り上げたことが児童の知的好奇心に働きかけ、興味・関心を高めることにつながった。(下記調査も参照) 今後の英語活動の国の動向も見据え、題材に関しても検討していくことが求められる。

図3

3 英語活動でどのようなことを身に付けたいですか？



考察

図3で注目すべき点は、学年が上がるにつれて「身に付けたいこと」の割合が概ね上がっている点である。英語活動を行っている中で、「できるようにになりたい」という思いが高まるような取り組みができているのではないかと考える。長く続く英語学習に向けて、この思いを高めていくことが大切である。また、「話す」「聞く」「読む」「書く」どの項目についても意欲が高い。教科化に伴い高学年からは「読む」「書く」活動の導入も始まる。児童が様々な活動を楽しみ、目標をもって学習を進められるような指導法等について工夫や改善を行っていきたい。

成果と課題

成果

- 「伝え合う」ことを楽しむ姿が多く見られるようになった。伝え方の手段・方法の提示の仕方や、「伝えたい」と思わせる活動内容等の実態に応じた工夫が児童にとって効果的に働いた。
- 歌やチャンツ、ゲームを通して、仲間どうしで進んで楽しみ合いながら関わる姿が見られた。
- 伝える手立てとしてのジェスチャーの有効性を児童が学び、進んで使う姿が見られた。

- 児童の日頃の生活の様子や学習の様子を把握している担任であるからこそできる、学習活動の目標達成に向けた効果的なペアワークやグルーピングを取り入れるなどの手立てを行い、児童が生き生きと活動する姿が見られた。
- 生活・学びの場で大切にすべきルールやマナーについても学習活動の場面で指導を行った。児童は伝えることの楽しさ、友だちを認めることの大切さについても、関わり合いを通して学ぶことができた。
- 児童の発達段階や実態に即したコミュニケーション活動を楽しむことができるゲームを考え、効果的に取り入れることができた。活動の中で児童が関わり合う場面を多く設けることができた。
- 各学級担任との打ち合わせを行うことで、活動内容や指方法の共通理解を図ることや、活動の目標を具体的にイメージしながら指導することができた。
- 語彙や表現等を児童の学齢に即して設定し、6年間を通した系統的な指導計画を作成することで、学びを積み重ねることができ、児童の意欲化を図れた。

課題

- 児童の関心・意欲には差がある。児童個々の実態も考慮し、苦手意識を持つ児童への細かな手立てを工夫していく必要がある。
- 当該年度は教師のスキルアップを図るための実技研修を多く行った。中学年の英語活動実施、高学年の教科化も控えている。より良い英語活動を実践していくためにも、校内研修を充実させていけるようにしたい。
- 効果的な教材・教具についての検討の必要がある。
- デジタル教科書等、ICTを使った授業に取り組むことが今後更に求められる。その効果について実践を通して研究していく必要がある。

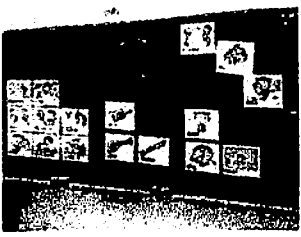
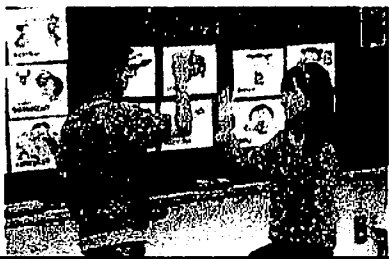
【参考文献】

- 樋口忠彦（2013）『小学校英語教育法入門』研究社
- 杉江修治（2016）『共同学習がつくるアクティブ・ラーニング』明治図書
- 前田康裕（2016）『まんがで知る教師の学び』さくら社
- 国立教育政策研究所（2013）『社会の変化に対応する資質や能力を育成する教育課程編成の基本原理』

資料編

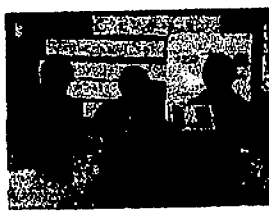
4 年生

4 5 分授業の展開

過 程	学習内容と児童の活動	活動の実際・使用した資料など
挨拶 (5)	○ 「Sing」を歌う。	○ 帰りの会でも歌うことによって、長めの歌詞でも覚えて、楽しみながら歌うことができるようになった。
復習 1 (7)	○ 英語でスポーツや楽器等の言い方を練習する。 ○ チャンツを行って、「Can you~?」 「Yes, I can~.」の言い方に慣れ親しむ。 ♪「Can you play soccer? 「Yes, I can. 「Can you play the piano? 「No, I can't. But I can swim.	○ Can~の使い方の区別を意識させながらピクチャーカードを提示し、ジェスチャーを用いて練習した。体を動かしながら、元気よく練習することができた。  「Can play~, can play the~, can~の使い分けを意識させる掲示」
復習 2 (8)	○ カルタ取りゲームをする。 ・ ルールを守って、スポーツや楽器等の英語の言い方を聞き取るゲームに取り組む。 「Spread cards, face up. 「If two people touch the card, do rock scissors paper one two three. 「Winner can get the card. ○ 今日のめあてを確認する。	○ 短時間学習からクラスルームイングリッシュの定着を図って取り組んできたことで、担任の指示の聞き取りを始め、児童の中でも英語を使ってゲームを進めることができた。  Hands on your head, Cha cha cha
展開 1 (10)	○ 「できることは何? ジェスチャーゲーム」をする。 ・ ゲームのルールを確認する。 ・ 配られた絵カードに合うジェスチャーを考える。 ・ 絵カードを持って、自由に移動する。出題者児童が、自分の絵カードに合うジェスチャーをし、解答者児童はジェスチャーをヒントに、できることを尋ねる。 S1, S2: Hi. S1: I can~. (歌うジェスチャーをする。) S2: Can you sing? S1: Yes, I can. I can sing.	○ ジェスチャーを積極的に使う活動を設定したことで、言葉以外の手段も使いながら、伝え合う楽しさを味わうことができた。  I can . . . Oh! Can you play baseball? ○ 活動のモデルを示す際には挨拶などのマナーについても指導し、意欲を高めることができた。 相手の目を見て、笑顔で会話をしよう。 

展開 2 (10)	○「できることインタビュー」をする。 ・グループに分かれ、活動の進め方を確認する。 ・ワークシートを使って、カードをプレゼントする友だちと、お互いができることを伝え合う。 S1: Hello. Can you play soccer? S2: Yes, I can./No, I can't. But I can play volleyball. S1: Great! Thank you. S2: You're welcome. Can you~? ・会話からわかったことをワークシートに記入する。 ・インタビューのときには、お互いに挨拶をしてから始めることを確認する。 ・相手の言葉に相づちを打ったり、声かけをしたりすることを確認する。	○インタビューしたことをカードにしてプレゼントするという目的を持って、児童一人一人が話す・聞く活動を充実させることができた。  Hi! Can you play tennis? No, I can't. But, I can swim. Oh! Great! Thank you. ○「色々な英語を覚えて楽しくなってきた。」「自分の気持ちや、言いたいことを言えるようになってうれしい。」「友だちの言うことをちゃんと聞けてうれしかった。」「もっとたくさんの人と英語で話したい。」「などの感想が聞かれた。
まとめ 挨拶 (5)	○ 振り返りカードに自身の取り組みについて記入する。 T: Good job! See you! S: See you!	

6 年生 45 分間授業展開

過 程	学習内容と児童の活動	活動の実際・使用した資料など
挨拶 (5)	○ あいさつをする。 T: Hello. How are you? S: I'm fine/happy/hungry. ○ ウォーミングアップをする。 Cookie Chants	・ 常時活動で行っているチャンツを取り入れ、英語活動を楽しく始めることができた。
復習 (10)	○ 行きたい国を紹介する言い方を練習する。 Where do you want to go? I want to go to ~. You can see/eat/play~. Let's go to~!	・ 紹介カードを用いて、前時までに学習した、行きたい国を紹介する言い方を練習した。短時間学習での練習の効果もあり、大きな声で自信を持って言うことができた。 

展開 1
(25)

- 国旗カルタ取りゲームを行いながら、行きたい国を尋ね合う言い方を練習する。

T: Put your hands on your head.

S.all: Where do you want to go?

T: I want to go to~.

T: Let's start the game!

Clockwise, please.

- 今日のめあてを確認する。

おすすめの国を紹介して旅にさそおう。

- おすすめの国の紹介をする。

- ・ 紹介し合う言い方を確認する。

- ・ 3人組となって紹介ブースを作り、前半5グループずつで紹介し合う。聞く側は紹介ブースを順番に5つまわっていく。

- ・ ワークシート等の資料を使って、おすすめの国を紹介し、ブースに来た友達を旅にさそう。

S1: Where do you want to go?

S1: What's this?

S1: Hint, please!

S2: It's ~.

S2: I want to go to~.

S2: You can eat/see/play~.

Let's go to ~!

S1: Great! Thank you. Bye.

S2: Bye.

- 振り返りカードに自身の取り組みについて記入する。

T: Good job! See you!

S: See you!

- ・ グループになって、尋ねたり答えたりしてゲームを行いながら英語表現に慣れ親しませることを目指した。その後の伝え合う活動の中でも生かすことができた。



- ・ 国旗や写真等を使って、楽しく会話を進められるようにする。
- ・ 伝える・聞く活動をしっかりと行えるように紹介する時間を各グループ2分程度で設定する。
- ・ 1回目の紹介を終えたところで、様々な表現方法を使って伝えようとしている児童を称賛し、意欲をもたせる。
- ・ スムーズに進んでいないときはアドバイスをし、支援する。
- ・ ジェスチャー等を積極的に使うように助言する。



- ・ 次時のスピーチへの意欲につながるように、良いところを伝える。

まとめ
挨拶
(5)

小中台南小学校ハロータイム 年間指導計画（１年生）



月	単元名	単元目標	活動例	表現例	語彙例	HFとの 関連
4	Hello.Friends! あいさつしよう！	・挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。	・自分の名前を伝え、挨拶をする。	Hello.I'm ○○○. Goodbye.See you.	hello, I, am, goodbye, see, you	1-L1
5	How are you? ごきげんいかが？	・感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。	・友達と挨拶をして、ジェスチャーを交えて自分の様子や状態を伝える。	How are you? I'm(happy).	how, are, 気持ちを表す語 (fine,happy,great,sad,tired)	1-L2
6	Head,shoulders,knees and toes. 元気におどろう！	・体の部分の言い方に慣れ親しむ。	・歌に合わせて体の部分の言い方を知る。 ・友達と楽しく関わりながら体の言い方に慣れる。	What's this? It is mouth.	what,is,this,mouth,nose, ears eyes,legs,hands・・・	
7	How many? 数えて遊ぼう	・1から10までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。	・友達と楽しく関わりながら、身の回りの数などを尋ねたり答えたりする。	How many? 数（1～10）	how,many,apple,strawberry, banana	1-L3
9	What's this? これなんだ？	・外来語と英語の違いに気付く。 ・ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	・クイズを出し合いながら友達と楽しく関わり、生き物の言い方に慣れ親しむ。	What's this? Lion.（生き物の言い方）	what,is, this, lion,monkey,panda・・・	1-L4
10	Trick or treat. 楽しいハロウィン	・外来語と英語の違いに気付く。 ・ある物が何かを尋ねた答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・外国の文化や風習を知る。（ハロウィン）	・ゲーム等を通して友達と楽しく関わり、ハロウィンにまつわるものの言い方に慣れ親しむ。	What's this? Witch.（ハロウィンにまつわる言葉） Trick or treat.	what,is, this, Trick or treat, witch,black cat・・・	

小中台南小学校ハロータイム 年間指導計画（１年生）

月	単元名	単元目標	活動例	表現例	語彙例	HF との 関連
11	I like blue. 何色が好き？	・色の言い方に慣れ親しむ。	・友達と楽しく関わりながら好きな色を伝え合う。	What color do you like? I like blue. (色の言い方)	what, color, do, you, like, I, blue, red, . . .	1—L4 1—L7
12	Merry Christmas! 楽しいクリスマス	・外国の文化に興味を持つ。	・友達と楽しく関わりながらクリスマスにまつわるものの言い方に慣れ親しむ。	Merry Christmas! Santa Claus.	Merry Christmas! candy cane, bell, tree . . .	
1	Happy New Year! 日本のお正月	・お正月遊びを通して、身近なものの名前や動作の表現に慣れ親しむ。	・福笑いゲーム等を通して友達と楽しく関わり、正月遊び等にもまつわるものの言い方に慣れ親しむ。	Happy New Year! Right. Left.	Happy New Year! right, left, up., down . . .	
2	I like soccer. いろいろなスポーツ	・外来語と英語の違いに気付く。 ・スポーツの言い方に慣れ親しむ。	・友達と楽しく関わりながら、好きなスポーツを伝え合う。	What sport do you like? I like soccer. (スポーツの言い方)	what, sport, do, you like, soccer, tennis . . .	1—L4 1—L5 1—L9
3	My family わたしの家族	・外来語と英語の違いに気付く。 ・家族の言い方に慣れ親しむ。	・友達と楽しく関わりながら、家族の言い方に慣れ親しむ。	This is my sister. (家族の言い方)	this, is, my, sister, brother . . .	

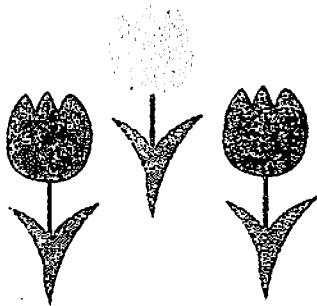


小中台南小学校ハロータイム 年間指導計画（２年生）

月	単元名	単元目標	活動例	表現例	語彙例	HFとの 関連
4	Hello.Friends! あいさつしよう！	- 挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 - 名前を言って、挨拶しようとする。	自分の名前を伝え、挨拶をする。	Hello.I'm ○○○. Goodbye.See you.	 hello, I, am, goodbye, see, you	1—L1
5	How are you? ごきげんいかが？	- 感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。 - 表情やジェスチャーを付けて挨拶をしようとする。	友達と挨拶をして、ジェスチャーを交えて自分の様子や状態を伝える。	How are you? I'm(happy).	how, are, 気持ちを表す語 (fine,happy,great,sad,tired,sleepy,hungry)	1—L2
6	Head,shoulders,knees and toes. 元気におどろう！	体の部分の言い方に慣れ親しむ。	- 歌やゲームを通して体の部分の言い方を知る。 - 友達と楽しく関わりながら体の言い方に慣れる。	What's this? It is mouth.	what,is,this,mouth,nose ,ears eyes,legs,hands・・・	
7	How many? 数えて遊ぼう	1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。	友達と楽しく関わりながら、身の回りの数などを尋ねたり答えたりする。	How many? 数（1～20）	how,many,apples,strawberries, bananas・・・	1—L3
9	What's this? これなんだ？	- 外来語と英語の違いに気付く。 - ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	クイズを出し合いながら友達と楽しく関わり、野菜や果物の言い方に慣れ親しむ。	What's this? It's a carrot.（野菜や果物の言い方）	what,is,this, lemon,eggplant,tomato ・・・	1—L4
10	Trick or treat. 楽しいハロウィン	- 外来語と英語の違いに気付く。 - ある物が何かを尋ねた答えたりする表現に慣れ親しむ。 - 外国の文化や風習を知る。（ハロウィン）	ゲーム等を通して友達と楽しく関わり、ハロウィンにまつわるものの言い方に慣れ親しむ。	What's this? Witch.(ハロウィンにまつわる言葉) Trick or treat.	what,is, this, Trick or treat, witch,black cat・・・	

小中台南小学校ハロータイム 年間指導計画（2年生）

月	単元名	単元目標	活動例	表現例	語彙例	HFとの 関連
11	I like blue. 何色がすき？	- 色の言い方に慣れ親しむ。 - 好きな色を尋ね合う。	・友達と楽しく関わりながら好きな色を尋ね合う。	What color do you like? I like blue. (色の言い方)	what, color, do, you, like, I, blue, red, . . .	1-L4 L7
12	Merry Christmas! 楽しいクリスマス	・外国の文化に興味を持つ。	・友達と楽しく関わりながらクリスマスにまつわるものの言い方に慣れ親しむ。	Merry Christmas! Santa Claus.	Merry Christmas! candy cane, bell, tree . . .	
1	What day is it today? 今日は何曜日？	・曜日の言い方に慣れ親しむ。	・「はらぺこあおむし」の絵本の読み聞かせを通して、曜日や食べ物の言い方に慣れ親しむ。	What day is it today? Monday. (曜日の言い方)	what, day, is, it, today, Monday, Tuesday . . .	
2	Do you like soccer? サッカーはすき？	- 外来語と英語の違いに気付く。 - スポーツの言い方に慣れ親しむ。	・友達と楽しく関わりながら、好きなスポーツを尋ね合う。	Do you like soccer? Yes, I do./No, I don't. (スポーツの言い方)	yes, no, do, don't, like, soccer, tennis . . .	1-L4 L5 L9
3	Alphabet アルファベットと なかよし	・アルファベットを知る。	・ABCソングを歌い、アルファベットの言い方に慣れる。	Let's sing ABC song. I can sing my ABC.	大文字 (A-Z)	1-L6 2-L1



Hello Time 5月(1年生)

1 今月のテーマ・・・ How are you? ごきげんいかが?

2 歌(さんぽ~となりのトトロ~)

3 言葉・・・状態や感情を表す言葉

How are you?, I'm happy, fine, angry, sleepy, hungry, sad, tired, great

4 スキット

A: Hello. How are you?

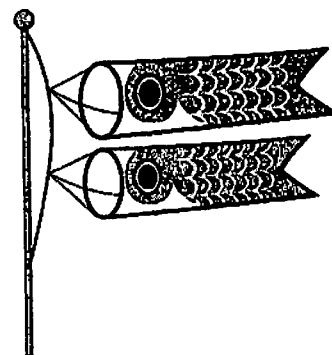
B: Hello. I'm happy.

A: How are you?

B: I'm sleepy.

A: Good bye!

B: See you.



5 目標・・・感情や状態を表す言い方に慣れ親しむ。

6 子どものめあて・・・ジェスチャーを使って伝え合おう。

7 活動の流れ

①あいさつ

T: Good morning boys and girls. (everyone)

How are you?

C: I'm fine, thank you. And you?

T: I'm fine, too.

OK. Let's sing a song.

②歌 さんぽ

③展開1週目

子どもの活動	教師の活動
Warming up ○感情や状態を表す英語の言い方を知る。	○カードを使ったり、ジェスチャーをしたりしながら感情を表す言い方の例を示す。
めあて ジェスチャーを使ってみよう。	
Main activities ○マイムクイズを行う。 S1 選んだカードをジェスチャーで表現する。 All ジェスチャーを見て感情や状態を表す英語を言う。	○ピクチャーカードを1枚選び、代表児童に見せる。 ○英語が出てこないようであれば支援する。 ○答える児童には大きな声で言うよう伝える。
Looking back ○感情や状態を表す言葉をみんなで大きな声で発音する。	○ジェスチャーを付けて言うように伝える。

展開2週目

子どもの活動	教師の活動
Warming up ○感情や状態を表す言い方の練習をする。	○ピクチャーカードを使ってそれぞれの表現の言い方を練習させる。
めあて ジェスチャークイズをしよう。	
Main activities ○ジェスチャークイズをする。 ・隣同士でペアになり、ジェスチャークイズをする。	○担任と代表の子どもでモデルを示す。 ①How are you?と尋ねる。②ジェスチャーや表情で答える。③Angry?と答える。④Yes!かNo!で回答する。
Looking back ○ピクチャーカードを見て、みんなで大きな声で感情や状態を表す言い方を発音する。	○担任と一緒にゆっくりと言わせる。 ○大きな声で言うことを伝える。

展開3週目

子どもの活動	教師の活動
Warming up ○列等で役割を分担し、スキットを言ってみる。	○ジェスチャーをしながら会話の流れを確認させる。
めあて ごきげんいかが?とたずね合おう。	
Main activities ○インタビューゲームをする。 ・友達とハイタッチをしてから、How are you?と尋ね合う。	○担任と代表の子どもでモデルを示す。 Hello,how are you?I'm happy.How are you? I'm tired. ○何人の友達と会話できたが尋ねる。 How many?
Looking back ○スキットの会話をみんなで大きな声で発音する。	○担任と一緒にゆっくりと言わせる。

④振り返り 数名の児童が活動の感想を発表する。

⑤あいさつ

T:Today's lesson is over.
 You are very good today.

Hello Time (はろーたいむ) 5がつ (1ねんせい)

なまえ ()

- 1 こんげつのテーマ・・・ごきげんいかが？
- 2 こんげつのうた (はろーそんぐ)

3 こんげつのことば

happy (たのしい) great (さいこう) angry (おこってます)

sleepy (ねむい) hungry (おなかがすいた)

sad (かなしい) tired (つかれた)

How are you? (ごきげんいかが) I'm OO. (わたしはOOです。)

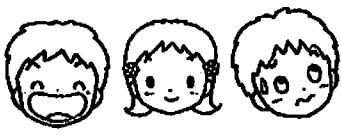
4 こんげつのめあて

①じえすちやーをつかってみよう。

②えいごできもちをつたえてみよう。

5 きょうのふりかえり

5がつ にち

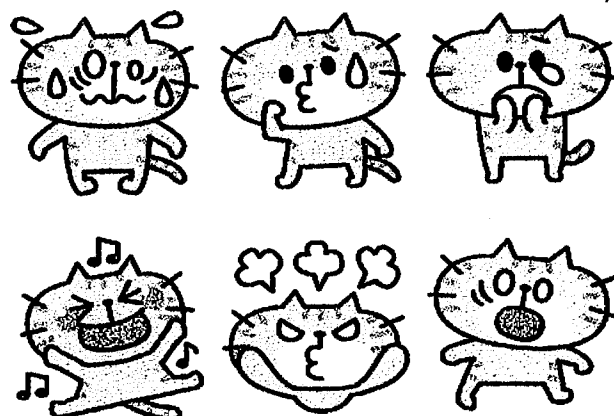
じえすちやーをつかってきもちをつたえましたか。	 () () ()
ともだちとたのしくえいごやじえすちやーでおはなしましたか。	 () () ()

5がつ にち

じえすちやーをつかってきもちをつたえましたか。	 () () ()
ともだちとたのしくえいごやじえすちやーでおはなしましたか。	 () () ()

5がつ にち

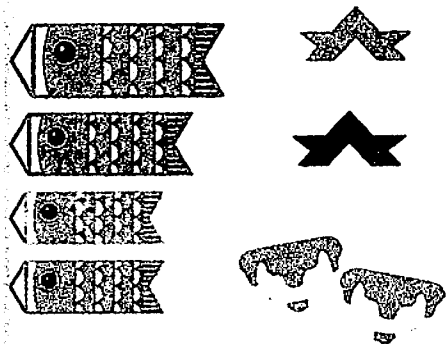
じえすちやーをつかってきもちをつたえましたか。	 () () ()
ともだちとたのしくえいごやじえすちやーでおはなしましたか。	 () () ()



- 1 今月のテーマ・・・ How are you? ごきげんいかが？
- 2 歌（さんぽ～となりのトトロ～）
- 3 言葉・・・状態や感情を表す言葉
- How are you?, I'm happy, fine, angry, sleepy, hungry, sad, tired, great, sick, thirty, bored, exciting

4 スキット

A:Hello. How are you?
B:Hello.I'm happy.
A:How are you?
B:I'm sleepy.
A:Good bye!
B:See you.



- 5 目標・・・感情や状態を表す言い方に慣れ親しむ。
- 表情やジェスチャーの大切さに気付く。
- 表情やジェスチャーを付けて挨拶しようとする。
- 6 子どものめあて・・・今の気持ちを表情やジェスチャーを付けて伝えよう。

7 活動の流れ

①あいさつ

T:Good morning boys and girls.(everyone)
How are you?
C:I'm fine,thank you. And you?
T:I'm fine,too.
OK.Let's sing a song.

②歌 さんぽ

③展開1 週目

子どもの活動	教師の活動
Warming up ○感情や状態を表す英語の言い方を知る。 めあて 気持ちを表す言葉を知ろう。	○カードを使ったり、ジェスチャーをしたりしながら感情を表す言い方の例を示す。
Main activities ○ジェスチャークイズを行う。 S1 選んだカードをジェスチャーで表現する。 All ジェスチャーを見て感情や状態を表す英語を言う。 Looking back ○感情や状態を表す言葉をみんなで大きな声で発音する。	○ピクチャーカードを 1 枚選び、代表児童に見せる。 ○英語が出てこないようであれば支援する。 ○答える児童には大きな声で言うよう伝える。 ○ジェスチャーを付けて言うように伝える。

展開2週目

子どもの活動	教師の活動
Warming up ○感情や状態を表す言い方の練習をする。	○ピクチャーカードを使ってそれぞれの表現の言い方を練習させる。
めあて ジェスチャークイズをしよう。	
Main activities ○ジェスチャークイズをする。 ・隣同士でペアになり、ジェスチャークイズをする。	○担任と代表の子どもでモデルを示す。 ①How are you?と尋ねる。②ジェスチャーや表情で答える。③Angry?と答える。④Yes!かNo!で回答する。
Looking back ○ピクチャーカードを見て、みんなで大きな声で感情や状態を表す言い方を発音する。	○担任と一緒にゆっくりと言わせる。 ○大きな声で言うことを伝える。

展開3週目

子どもの活動	教師の活動
Warming up ○列等で役割を分担し、スキットを言ってみる。	○ジェスチャーをしながら会話の流れを確認させる。
めあて ごきげんいかが?とたずね合おう。	
Main activities ○インタビューゲームをする。 ・友達とハイタッチをしてから、How are you?と尋ね合う。	○担任と代表の子どもでモデルを示す。 Hello,how are you?I'm happy.How are you?I'm tired. ○何人の友達と会話できたが尋ねる。 How many?
Looking back ○スキットの会話をみんなで大きな声で発音する。	○担任と一緒にゆっくりと言わせる。

④振り返り 数名の児童が活動の感想を発表する。

⑤あいさつ

T:Today's lesson is over.
 You are very good today.

name ()

- 1 こんにちはのテーマ・・・ごきげんいかが？
- 2 こんにちはのうた (ハローソング)

3 こんにちはのことば

happy (たのしい) great(さいこう) angry (おこってます)

sleepy (ねむい) hungry (おなかがすいた) sick(ぐあいがわるい)

sad (かなしい) tired (つかれた) thirty(のどがかわいた)

bored (たいくつ) exciting (わくわくしている)

How are you? (ごきげんいかが) I'm ○○. (わたしは○○です。)

4 こんにちはのめあて

①ジェスチャーをつかってつたえてみよう。

②えいごで気持ちをつたえてみよう。

5 きょうのふり回り

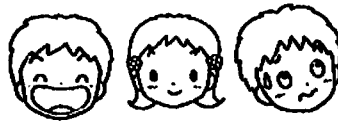
① 5月 日

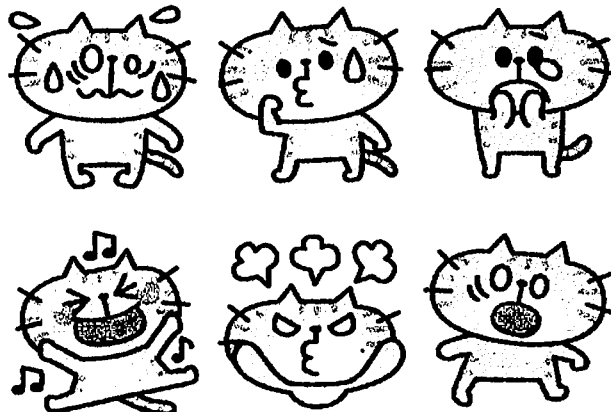
気持ちや体の様子などの英語の言い方を 知りましたか。	 () () ()
楽しく活動しましたか。	 () () ()

② 5月 日

英語やジェスチャーを使って、ペアで会話が できましたか。	 () () ()
楽しく活動しましたか	 () () ()

③ 5月 日

英語やジェスチャーを使ってたくさんの 友だちと会話をしましたか。	 () () ()
楽しく活動しましたか。	 () () ()



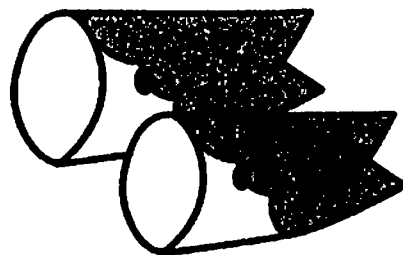
Hello Time 5月(5年生)(*28年度)

- 1 今月のテーマ・・・世界のあいさつ
- 2 歌 (Hello song)
- 3 ことば・・・Hello.. Bon jour. Jambo. Boa tarde. My name is～. Nice to meet you.
他に・・・ナマステ アンニョンハセヨ ニーハオ スドラストヴィチェ (ロシア)
ヒューヴァーパイヴァー (フィンランド)
- 4 めあて・・・①世界のあいさつや自己紹介の言い方に慣れ親しみましょう。
②友だちとの会話を楽しみましょう。

5 活動の流れ

①あいさつ

T: Good morning boys and girls. (everyone)
How are you?
C: I'm fine, thank you. And you?
T: I'm fine, too.
OK. Let's sing a song.



②歌

③Warming up 1週目

○ことばの意味を知る。・・・授業の復習を兼ねて、担任が例を示し、言い方の練習を行う。

Warming up 2週目

○自己紹介のロールプレイを行い、会話の確認する。

④Main activities 1週目

○握手ゲームを行う。

好きな国の挨拶をしてから、自己紹介を行う。

・できるだけたくさんの友だちと挨拶をさせます

発音が難しくても、ジェスチャーを使いながら元気に言えれば OK。

Main activities 2週目

○自己紹介のロールプレイを行う。

・ワークシートにオリジナルの名前を書かせる。名前は好きな果物を英語で。名字は好きな野菜。年齢は電話番号の下二桁等で。

・文字はカタカナ・平仮名どちらでも。英語の言い方がわからないときは知っている言い方の英語名で。「面白い名前だね!」「そんな年齢なの!」とリアクションをつけて会話ができるように担任がモデルを示します。

・握手ゲームの要領で、互いに会話をします。

⑤Looking back

・自己紹介の言い方をみんなで大きな声で発音する。

⑥あいさつ

T: Today's lesson is over.
You are very good today.

こんな活動も♪ リレーゲーム・・・列になり、伝言ゲームのように前の人が後ろの人に挨拶をしていく。

Hello Time (ハロータイム) 5月(5年生) *28年度

- 1 今月のテーマ・・・世界のあいさつ
- 2 今月の歌(ハローソング)

3 今月のことば

Nice to meet you. (よろしく)

My name is OO. (わたしの名前はOOです)

I'm Δ years old.

Nice to meet you, too. (こちらこそよろしく)

Hello. See you (またね)

Bon jour. (フランス) Jambo. (アフリカ) Boa tarde. (ブラジル)

ニーハオ(中国) アンニョンハセヨ(韓国) ナマステ(インド)

ヒューヴァーバイヴァー(フィンランド) スドラストヴィチェ(ロシア)

- 4 今月のめあて ①世界のあいさつや自己紹介の言い方に慣れ親しみましょう。
②友だちとの会話を楽しみましょう。

5 今日のふりかえり

5月 日

楽しくできましたか。	 () () ()
めあてを達成できましたか。	 () () ()

5月 日

楽しくできましたか。	 () () ()
めあてを達成できましたか。	 () () ()

☆名前を考えましょう

名前 ()

名字 ()

年れい () 才

フルーツ

ストロベリー メロン オレンジ チェリー

アップル バイナップル グレープ

グレープフルーツ など

好きなフルーツを名前にしてみよう!

ベジタブル

トマト エggプラント(なす) レタス ポテト

グリーンベツパー(ピーマン)

キャベツ オニオン など

好きな野菜を名字にしてみよう!

*年れいは電話番号の下2けたで。

千葉市立小中台南小学校外国語（英語）活動 CAN-DO リスト

	外国語（英語）表現の能力				外国語（英語）理解の能力			
	Speaking	評価	Writing	評価	Listening	評価	Reading	評価
6年	○既習の表現を使って自分の思いや考え、友達のことなどを相手に伝わりやすくする工夫をしながら、話すことができる。 ○設定された場面の中で初歩的な英語を使って伝えることができる。	・観察 ・スピーチ ・振り返りカード	○慣れ親しんだ語や文を書き写すことができる。	・ワークシート	○既習の表現を聞き取ることができる。 ○聞いたことに相づちを打ったり、How about you?などと簡単な言葉を言ったりしながら聞くことができる。	・観察 ・ワークシート	○音声や、ピクチャーカードや場面設定カード等を手がかりに慣れ親しんだ語を読むことができる。	・ワークシート
5年	○自分の思いや考え、事実などを聞き手を意識しながら初歩的な英語で伝えることができる。 ○聞き手の反応を確認しながら話すことができる。	・観察 ・スピーチ ・振り返りカード	○慣れ親しんだ語や文をなぞって書くことができる。	・ワークシート	○提示された場面での表現を類推しながら聞き、内容を理解することができる。 ○相手の話のポイントを繰り返したり、Really?などと問い返したりしながら聞くことができる。	・観察 ・ワークシート	○音声や、ピクチャーカードや場面設定カード等を手がかりに慣れ親しんだ語を読むことができる。	・ワークシート
4年	○自分の思いや身近なことについて尋ねたり答えたりしようとしている。 ○聞き手が理解しているか確認しながら話している。	・観察 ・振り返りカード			○提示された場面等で話されている内容を類推しながら聞こうとしている。 ○Nice. などと言って反応をしながら相手の話を聞いている。	・観察 ・振り返りカード	○アルファベットの大文字・小文字の形を認識し、3文字程度の慣れ親しんだ単語を指さしたり、読んだりしている。	・ワークシート

千葉市立小中台南小学校外国語（英語）活動 CAN-DO リスト

	外国語（英語）表現の能力				外国語（英語）理解の能力			
	Speaking	評価	Writing	評価	Listening	評価	Reading	評価
3年	○自分の思いや身近なことについて簡単な言葉のやり取りをしようとしている。 ○ジェスチャーなど、非言語の手段を使って話している。	・観察 ・振り返りカード			○提示された場面で話されている単語や表現を類推しながら聞こうとしている。 ○相手の話にうなづいたり、O.K.などと言ったりしながら話を聞くことができる。 ○絵本の読み聞かせを聞いて、話の内容を理解している。	・観察 ・振り返りカード	○アルファベットの大きな文字・小文字を認識し、正しく発音したり、ローマ字で書かれた名前を読んだりしている。	・ワークシート
2年	○自分に関する情報について1文程度で話している。 ○「はい/いいえ」で答えられるようなごく簡単なやり取りをしている。 ○ジェスチャーなど、非言語の手段を使って伝えようとしている。	・観察 ・振り返りカード			○「はい/いいえ」で答えられるような、ごく身近な話題について繰り返しゆっくり話されて、話の内容を理解している。 ○身近で簡単な表現で書かれた絵本などの読み聞かせを聞いて、話の内容を理解している。	・観察 ・振り返りカード	○アルファベットの音と大文字を認識して、正しく発音している。	・観察